

## 自治体国際協力専門家 派遣事業

(財)自治体国際化協会支援協力部国際協力課

### はじめに

国際協力については、近年、Local to Local(地域から地域へ)という地域主体の国際協力活動が広く認識されるようになってきております。一方、わが国の地方自治体では、地域に根差した広範な行政分野を担い、地域振興や地域住民の福祉の向上等のための多種多様なノウハウ・技術を蓄積してきています。

このため、(財)自治体国際化協会では、わが国地方自治体の有するノウハウ・技術を地域主体の国際協力に積極的に活用するため、まず、国内自治体の職員の中から、国際協力に資する能力を有する者を「国際協力人材バンク」に登録し、この中から、海外地方政府の派遣要請に基づいて、適切な者を選定し派遣する「自治体国際協力専門家派遣事業」を平成一〇年度から実施しています(「自治体国際協力人材バンク」の詳細については、本誌二〇〇六年四月号を参照)。

### 事業の概要

自治体間における国際協力活動としては、共同プロジェクトの実施や海外からの研修員の受入れ、国際会議の開催などさまざまな方法で実施されていますが、本事業は、人を通じた国際協力といえます。海外の自治体の派遣要請に基づいて、わが国の自治体職員およびOBを専門家として派遣し、ノウハウや技術の指導を通じて派遣先自治体等の行政資質や技術力の向上、人材育成に寄与するとともに、わが国の自治体と海外地方政府との友好交流協力関係の発展を目指しています。派遣に当たっては、当協会と派遣先自治体等とが派遣期間(二カ月以内)や経費負担等について協定を締結するなど、万全を期しております。なお、現在の派遣対象地域は、中国および東南アジアとされています。

(1) 派遣者：国際協力人材バンク(DBB)に登録している自治体職員および退

職した職員

(2) 派遣先：当面、中国、東南アジアを対象

(3) 派遣期間：原則、三カ月以内(おおむね一〇日間から一カ月程度)

(4) 派遣分野：農業、林業、環境、土木、都市計画、医療、電気、教育など三二分野

(5) 派遣方法：海外の地方自治体等の要請に基づいて、国内自治体と調整をして派遣

※派遣に当たり、派遣先(海外自治体等)と当協会が協定書を締結

### 派遣の実績

本事業は、平成一〇年度に中国へ環境などの分野で三人の専門家を派遣することにより始まりました。それ以降、翌平成一一年度は中国へ六人、平成一二年度はベトナムなど二カ国に一〇人、平成一三年度はラオスに五人、平成一四年度はインドネシアなど四カ国に四人、平成一五年度はラオスに二人、平成一七年度はカンボジアなど二カ国に三人を派遣し、農業、環境保全、教育、福祉および地方自治・財政制度などの分野で協力活動を行ってきました。また、本年、平成一八年度は、事業推進の事務の円滑化等を図り、中国、カンボジアの二カ国に約二〇人の専門家の派遣を予定して

おります。

### 平成一七年度の派遣内容

1. 中国・新疆ウイグル自治区におけるイチゴを中心とした農業技術支援

派遣期間は二〇〇五年九月二二～二九日、派遣先は新疆ウイグル自治区ウルムチ県科学技術局(中国・新疆ウイグル自治区ウルムチ市南湖路)で、活動内容は現地政府関係者への指導・相談対応、ウルムチ県科学技術局関係職員等への指導、ウルムチ県果蔬研究所との研究交流、イチゴ産地および現地農家への技術指導などを行いました。



↑イチゴ現地指導

2. 中国・新疆ウイグル自治区における廃棄物処理を中心とした環境技術支援

派遣期間は二〇〇五年一〇月一六～二三日、派遣先は新疆ウイグル自治区ウルムチ市市容管理局(中国・新疆ウイグル自治区ウルムチ市揚子江路)で、活動内容は現地政府関係者への指導・相談対応、ウルムチ市市容管理局へ廃棄物処理における福岡方式の指導を行いました。

3. カンボジア・コンボン・チュナン州における窯業技術支援

派遣期間は二〇〇六年二月八～一九日、派遣先はカンボジアの首都プノンペンから



↑窯業技術指導

北北西に約一〇〇kmに位置するコンボン・チュナン州で、活動内容はクメール語で土鍋の浜辺という意味を持つ、古くからの陶器の産地コンボン・チュナン州の窯業の復興に向けた現地技術スタッフへの製陶技術指導を行いました。

### 平成18年度の派遣計画

派遣国	派遣地域	派遣分野
中国	河南省	交通計画
		都市計画
	四川省	林業・病害虫駆除
		環境保全
		農業・栽培技術
	新疆ウイグル自治区	農業・有機栽培
		林業・病害虫駆除
		環境保全
		畜産業・飼料栽培
	陝西省	農業・栽培技術
農業・病害虫予防		
農業・有機栽培		
山東省	農業・有機栽培	
	農業・有機栽培	
カンボジア	コンボン・チュナン州	窯業